

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月26日

事業所名 HARVEST

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	集団活動、個別活動で使用スペースを調整し、工夫しながら空間を使っています。	個々の特性や状況を踏まえて訓練室を分けるなど、職員同士連携をとりながら空間を使っています。
	2	職員の配置数は適切である	4	0	事業所間での移動体制や、代行連絡調整ツールを用いて欠員がある場合は速やかにサポートできる体制を整えています。	事業所間での移動体制や、代行連絡ツールを使用し、安全に療育が受けられるように体制を整えていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0	玄関や廊下、トイレ等にイラストを用いた視覚提示をしています。	引き続き理解しやすい構造化された環境設定をしていきます。利用児童の状態に合わせてスロープ設置の検討などをしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	会議やミーティング等、職員間で話し合う機会を設けています。今後もより良い療育が提供できるよう努めています。	今後もより良い療育が提供できるように、努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	取りまとめた意見を参考に社内で話し合いを設け、改善する点や質を向上できるように業務改善に取り組んでいます	早急な課題に対してはすぐに取り掛かり、改善に向けて内容の見直しを行います。サービス向上のために、保護者向けアンケートの実施なども考えています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	HP上での公表を行っております。	HPで自己評価の結果を公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	定期的に外部評価を受け業務改善に繋げています。	評価結果を職員間で話し合い業務改善に努めていきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	今年度は年6回の内部研修、講師を招いた3回の外部研修を実施しました。今後も職員のスキルアップに向けた研修を継続的にしていきます。	内部・外部研修問わず定期的に研修の機会を確保し、更なる向上を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	お子様の情報に加え、各評価・検査を基に話し合い計画を立てています。	情報に加え、各評価・検査を基に話し合い計画を立てていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	運動、概念、眼球運動など発達に関するもので標準化されたアセスメントツールを使用して評価を行っています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	職員全体で情報共有し、プログラムの立案を行っております。	引き続き職員間で情報共有を行い、プログラムの立案に努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	チーム内で日々検討し実施しております。目的を意識しながら楽しんで取り組めるプログラムになるよう努めてまいります。	お子様が毎回楽しく参加できるよう職員間で日々検討・工夫し、支援目的とプログラムにズレがないよう取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行えるよう努めています。長期休暇は特別プログラムを組みチャレンジ動画やスケジュールに沿った生活を意識できる活動を提供させていただいています。	負担にならないように課題への取り組み支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	お伺いした情報に加え、お子様の様子に合わせて個別活動と集団活動を設定しています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	午前中と終業後に振り返りや翌日の活動の動きと役割分担を確認しています。	お子様の情報を共有し、職員間でフォローし合い万全の態勢で対応できるよう取り組んでいます。今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	その日の様子や前回からの変化等、情報を共有しています。複数の目で見ることで見えや気づきがあるため、今後も続けて行っています。	共有漏れがないよう職員同士声を掛け合うようにします。今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	日々の療育内容は記録、保存し、いつでも見直せるようにしています。	スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげています。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	相談支援事業所を通じて、モニタリング時に情報提供できるように、日々の記録から内容や目標設定の見直しを行っています。	モニタリング時に情報提供できるように、日々の記録から内容や目標設定の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0	ガイドラインに沿って基本活動の構成を行ない、療育を実施しております。	今後も保護者様により分かりやすいご説明ができるよう努力していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	担当者からお子様の状態や活動への取り組み、成長ポイント、苦手なこと等を伝え、管理者から見たお子様の状態と合わせて現状をお伝えさせていただいています。	今後は管理者以外に担当スタッフなど参加の機会を増やし、より細かい情報を共有し合える場を設けていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	0	行事予定や下校時刻の変更等は、事前に学校や保護者様に確認を取っています。	今後も保護者様や学校との情報共有、連絡調整を適切に行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4	現在、医療的ケアが必要な児童のご利用がありません。	必要に応じて受け入れ態勢を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	情報共有と相互理解に努めています。ご相談がある場合は事業所にご連絡いただけるよう声をかけています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問ください。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	情報提供書等を各関係機関に送っています。	必要な際は情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	各種医療・福祉機関と連携して研修を受けさせていただいています。今後も連携を続けていく予定です。	今後もより良い療育をご提供できるよう関係性を深めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	現在は実施していませんが、今後交流する機会を設けていければと考えています。	毎月行っている屋外活動で交流の機会を作れるように、企画・立案をさせていただきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	0	自立支援協議会等の集まりに積極的に参加をさせていただいています。	今後も参加の場を広げて、関係性を繋げていけるよう努めていきます。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	直接話せない保護者様には連絡ノートを活用し療育内容や成長ポイント、自宅でのトレーニングの提案を行っています。また保護者さまからのご相談やお悩みもノートで受け付けております。	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っています。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を継続して実施していきます。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0	ZOOMでの講習やYOUTUBE配信での保護者向け勉強会を定期的に開催しております。子ひとりひとりの特性を鑑み、悩みに対する対応策などを提示しております。	引き続きオンラインを利用した講習会や勉強会を開催する機会を設けていきます。またより多くの保護者様に視聴いただけるよう周知の方法を工夫したり興味を持っていただける内容をピックアップできるよう努めていきます。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	見学時にご説明させていただいています。	利用途中でも質問がありましたらお問合せ下さい。今後も保護者様により分かりやすいご説明ができるよう努めていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を心がけています。	今後も保護者さまにより分かりやすいご説明ができるよう努力していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	感染症を鑑みて密になる活動を避けていましたが、昨今の状況から今後は保護者交流を促す活動も検討していきます。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	第三者委員会の設置やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	行事予定や活動内容についてホームページやLINE、Instagram、Facebookにて発信しています。	ホームページやLINE、Instagram、Facebookにて行事予定や活動内容等を発信しております。月に1回お渡ししている営業日のご案内用紙に各種QRコードが印刷されておりますのでご利用ください。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	研修を設け個人情報の取り扱いには最善の注意を行っています。	今後も個人情報に関しては厳重に取り扱うよう注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	同意を得た後に、連絡ノートや電話等での情報共有を行っています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを一つ一つ大事にしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	海岸清掃ボランティア活動などを実施し、地域に根付いた運営を図っています。	地域コミュニティの1つになれるよう新しい企画立案をしていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	各事業所毎に防災訓練や感染症対策など年間スケジュールを立てて実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災の避難訓練を実施しています。職員研修にて各種マニュアルの認識を深めると共に想定訓練を実施しより安全に避難できるよう対策を立てていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	年間スケジュールを組み、火災・震災の避難訓練を実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災への学習時間を持ち、避難訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	虐待防止委員会を設置しています。定期的な研修を行い啓発活動を実施しています。	定期的な研修会や周知にて職員の知識向上、意識改革を行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会スタッフによりマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。必要がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。	止む終えず拘束対応する場合はマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有をし、必ず保護者様と相談の上で決定させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	見学や初回利用時におさまの状況把握を行い、適切な対応ができるよう配慮させていただきます。	食事を伴う活動の際はアレルギー確認を行い、個々に合わせた対応をしています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	毎月ヒヤリハット事例を提示し、職員の意見を集約し情報共有を行っています。	事業所間でのヒヤリハット報告や想定ヒヤリハット等事例検証を行い、防げる事故は事前に対処できるよう努めていきます。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月26日

事業所名 HARVEST GAT

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	個室空間や学習空間があり、児童の状況に合わせて対応出来るようにしています。	利用しやすい環境を意識し取り組んでいきます。物品の管理、整理を行い、適切な空間の確保に努めていきます。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	利用児童に対し適切な数の職員が配置されています。	お子様が安全に療育が受けられるような職員数と専門的な視点からお子様の発達支援に取り組みます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	6	事業所入口前に段差がありますが、段差昇降に困難さのある児童がいれば必要に応じて補助を行っています。	事務所入り口前の段差に対しては補助などの対応を引き続き行わせて頂きます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	児童の担当職員だけでなく、職員全員が参加しミーティングを行っています。児童の情報共有、療育内容の検討、目標設定の確認をしています。	今後もより良い療育を提供できるようにPDCAサイクルを意識した業務に取り組んでまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	毎年実施し、結果をホームページに掲載しています。頂いた意見をもとに、業務の改善に努めています。	頂いた意見をもとに業務改善に繋がるよう職員間で話し合う機会を設けていきます。また、業務改善に向けご意見を頂く機会を増やせるよう努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページで結果を公開し、いつでも閲覧いただける様にしています。	ホームページにて自己評価の結果を公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	定期的な外部評価を受け、会社全体で情報共有を行い日々の業務の改善を行っています。	評価結果をスタッフ間で共有し、業務改善につながるよう検討し、改善に向け取り組んでまいります。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	2か月に一度（年に6回程度）、全職員での研修を実施しています。	今後も勉強や研修会の機会を設け、スタッフの質の向上に努めていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	児童と保護者のニーズを確認し、全事業所で共通の評価を用い、評価をもとに計画書の作成をしています。	引き続き適切なアセスメントを行い、お子様と保護者様のニーズをふまえた支援計画を作成していきましょう努めていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	全事業所で共通した評価ツールを使用し実施しております。	引き続きアセスメントツールを適切に使用しお子様の状況把握に努めていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	各事業所で、毎週違った活動（工作、運動、ゲーム、SST等）を担当者を決めて立案しています。	引き続き職員間の情報共有に努め、プログラムの立案に努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	各事業所で、毎週違った活動（工作、運動、ゲーム、SST等）を計画する事で固定化せずに色々な活動に参加していける機会を設けています。	週ごとに活動に変化を加え、お子様にとって色々な経験となるような活動を提供していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	児童の様子や、保護者様のニーズに合わせて平日や休日の課題を設定しています。また、就学児を対象に、長期休みの過ごし方の計画を全事業所で共通で行っています。	引き続きお子様の様子や課題に合わせて対応を行います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	事前の聞き取りやアセスメントを元に、計画は立てています。児童の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルで計画の見直しを行っています。	引き続きお子様の状況に応じた計画の作成を行っていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	利用前の見学で得た情報をもとに、利用時の支援を担当職員間で計画します。また日々業務の前後と休憩の時間を使用しながら、職員間で支援内容の伝達や協力をしながら療育に臨んでいます。	スタッフ間で情報共有を行い、事前にしっかりと準備をしたうえで療育を行うことを努めてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	毎日、職員間でその日の児童の様子や情報共有をしています。その際に次回の利用時の取り組みの相談を行っています。	スタッフ間で支援の振り返りの機会を設け、次回の療育に生かせるように取り組んでいきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	日々の利用については、日報で記録を残しています。担当職員（メインとサブ）や職員間で検証改善を行っています。	日報の記録を徹底し、支援の検証、改善に努めてまいります。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	利用時初月とモニタリング月、誕生日月に計画書の見直しや変更を行い、保護者様に書面でお伝えしています。	モニタリング時、見直しの必要性をご説明させていただきます。見直した内容に関して丁寧な説明を行っていきます。	
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0	ガイドラインをもとに活動内容を選択し、設定しております。	今後もより良い療育をご提供できますよう努めていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	事業所の管理者が基本的に参加をしています。事前に児童の様子を担当職員と情報を共有し担当者会議に参加しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やして精通した人材育成に努めていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	保護者様を通して、学校行事等は把握をしています。また学校訪問をしている場合は、その時に情報を把握させていただき事もございます。	引き続き適切な情報把握に努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	必要に応じて、保護者様を通して主治医等と連絡を取り合い、連携をとっています。また、利用時にかかりつけの病院の情報を聞き、連絡体制を整えています。	今後必要性に応じて対応に努めていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	場合により連携を取らせていただく事もあります。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問ください。引き続き連携を深めていけるよう努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	現在は移行している児童がいませんが、必要に応じて行っています。	今後必要性に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	各種医療・福祉機関と連携して研修を受けさせていただいています。今後も連携を続けていく予定です。	今後もより一層連携を深め、研修の機会を設けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	現在は実施していませんが、今後交流する機会を設けていければと考えています。	事業所外活動の回数を増やしていけるよう努めていきます。
	27	（地域自立支援）協議会等積極的に参加している	6	0	当社の代表が、自立支援協議会等の集まりに積極的に参加をさせていただいています。	今後も参加の場を広げていけるよう努めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	利用の時間内で、保護者様と情報共有する時間を作り、共通の理解を深めています。事業所で会うことができない保護者様とは送迎時に話をする時間を設けています。また、連絡ノートを作成し情報伝達、共有の手段として使用しています。	今後も保護者様との情報共有、共通理解が持てるように努めてまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	現在は個別の対応となっておりますが、保護者様のお悩みに合わせて行っています。	ご質問やご相談のある場合は当事業所にご連絡下さい。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約の際にご説明をさせていただいています。また、それ以降にご不明点等のご質問にはお答えさせていただいています。	今後も保護者様がより分かりやすいご説明が出来るように努めていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	ご利用の前後の時間でお話を伺ったり、お悩みにお答えさせていただいています。必要に応じて、話し合いの場を設ける実施する事もございます。また、連絡ノートを使用し、相談や助言も行っていきます。	引き続き保護者様からのお悩みや相談に対し、必要な助言と支援が行えるよう努めてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	保護者様に対してお悩み相談、勉強会等を開催して支援を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情対応の窓口やマニュアルを設けて、迅速かつ適切に対応を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	毎月全事業所統一でイベントの案内等を発行していると共に、SNS（HP、Instagram、Facebook）で様々なお知らせや事業所の様子の紹介を行っています。	お子様が楽しみながら成長を促していけるように、今後も様々な取り組みを企画し、発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	会社全体でのミーティングにて個人情報への認識を高めております。個人情報は厳重に扱うことを全職員で徹底しています。	引き続き個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	保護者様のご都合に合わせて個別対応をしています。直接お会いできない場合でも書面等を通じて様子を伺わせていただくようにしています。	今後もお子様と保護者様とコミュニケーション大切にし、情報伝達への配慮に努めてまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	毎月のイベントにて地域の方に協力をいただき、海岸清掃を実施いたしました。今後も地域の方と繋がったイベント等を行っていきたく考えています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	社内で委員会を設立し、全体での研修会を通して職員の周知に努めています。災害や感染をテーマにした活動を行い、その内容を保護者様にお伝えしております。	定期的な避難訓練とその様子を情報発信することで、事業所とご家庭の避難についての情報共有と防災意識の向上に努めていきます。ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	計画を立てて年に2回は必ず実施し、他にも感染症対策として手洗いの方法を確認や交通安全についても全事業所同時に学びと実践を取り組んでいます。	定期的な避難訓練を通して今後も防災意識の向上を図ってまいります。ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	社内で虐待防止委員会を設置し、マニュアル作成と共に社員研修の実施に取り組んでいます。	引き続き研修機会を多く設け、スタッフの技術・知識向上に努めてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	基本的に身体拘束は行っていません。しかし、今後そういったご事も出てくる可能性を含め、身体拘束適正化検討委員会で検討し全社員で共有していきたいと考えています。	身体拘束の必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	利用時に保護者に聴取し、職員間で情報共有を行い把握しています。おやつ提供の際にはアレルギーに注意し提供するようにしています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	日ごろのヒヤリをもとにヒヤリハット事例集を作成しております。想定ヒヤリを全職員で考えながら、ケガや事故の防止や予防に努めています。	今後もヒヤリハット事例を検討し、事故の予防に努めてまいります。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月26日

事業所名 HARVEST BASEWORKS

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	職員間で連携しながらスペースを利用しています。	職員間での連携をしていき、フロアや個室を利用していきけるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	利用児童に対し常に職員が1人以上対応できる配置を行なっています。	お子様が安全に療育を受けられるように努めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	トイレに手すり、玄関に自動ドアを設置しています。	必要に応じて対応させていただきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0	担当児童に副担当を設けて、広い視野での療育を心がけています。	よりよい療育を提供できるように努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	毎年実施し結果をHPに記載しています。また、そこから出た意見を元に全事業所で日々の療育の改善へ繋がっています。	アンケートからいただいたご意見を元として、更なる業務改善へと繋げていきたいです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	県へのアンケート提出を行ない、ホームページに結果を公開しています。	アンケートからいただいたご意見を元として、更なる業務改善へと繋げていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	0	定期的な外部評価を受け、業務改善に繋がっています。	引き続き外部評価を受けていき、更なる業務改善へと繋げていきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	2ヶ月に一度全事業所職員が集まり、職員研修を実施しています。	勉強会や研修を通して職員の知識や資質の向上に努めていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	年に2回作成しています。作成月前には運動や学習に応じた評価を行ない、一人ひとりのお子様に合わせた支援計画を作成しています。	支援内容などを分かりやすく保護者様へお伝えできるように努めていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	全事業所で統一された聞き取り用紙や評価を実施しております。	保護者様により分かりやすくご説明をできるように今後も努めていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	運動課題やゲーム、工作、SST、季節や時期に応じた遊びなどを提供できるように努めております。	引き続き職員間でプログラムの立案を行なっていき、よりよい療育を提供できるように努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	保護者様からのニーズや目標に沿った支援を行ない、活動プログラムを固定化せずにお子様を楽しめるように工夫をしながら努めております。	引き続き職員間でプログラムの立案を行なっていき、よりよい療育を提供できるように努めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	保護者様のニーズや目標、お子様の様子に合わせて平日や休日に合わせて課題を設定しております。また、長期休み中の過ごし方の計画や目標設定などに取り組んでおります。	お子様の様子に合わせて課題を設定していき、療育を行なっていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	保護者様からの聞き取りやニーズに沿って支援計画を作成し、お子様の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しております。	お子様の様子に合わせて個別と集団の活動を取り入れて、今後も療育を行なっていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	支援開始前に職員間での打ち合わせを行ない、支援内容の確認や情報共有をしております。	引き続き支援開始前には職員間で打ち合わせを行ない、情報共有をしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	支援終了後に職員間での打ち合わせを行ない、支援内容の反省や情報共有、次回実施する支援内容を考えていくようにしております。	引き続き支援終了後には職員間で打ち合わせを行ない、情報共有をしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	日々の支援内容に関しての日報を電子記録を使用して記録しております。	引き続き電子での日報を使用して記録してその時の状況を振り返ることができるようになっていき、よりよい療育を提供できるように心掛けていきます。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っております。	お子様の日々の成長に合わせて放課後等デイサービス計画の見直しをしていき、今後も保護者様へ分かりやすく説明をしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0	ガイドラインに沿って基本活動の構成を行ない、療育を実施しております。	引き続き、ガイドラインに沿って療育を行なっていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	管理者が参加をしております。	今後は管理者以外の職員も参加の機会を増やし、人材育成に努めていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	0	保護者様を通して学校行事や長期休暇などを教えていただき、職員間で把握をしております。必要に応じて学校訪問を実施させていただいております。	ご相談やご質問等がある際には、当事業所にお気軽にご連絡ください。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	9	現在、医療的ケアが必要な児童のご利用がありません。	必要に応じて対応させていただきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	必要に応じて行なっていき、情報共有と相互理解に努めてまいります。	必要に応じて対応させていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0	今後必要に応じて行なっていき、支援内容などの情報提供を行なっていきます。	必要に応じて対応させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0	各種医療・福祉機関と連携して研修を受けさせていただいています。今後も連携を続けていく予定です。	引き続き各種医療・福祉機関と連携を行なっていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9	コロナ禍だったということがあり現在は実施していません。	交流する機会を設けていくことで地域との繋がりを作っていきけるよう取り組んでいきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	9	0	当社代表と管理者が自立支援協議会や地域会議などに参加をしております。	管理者以外の職員も参加の機会を増やし、人材育成に努めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする時間を設けております。	保護者様とお話ししていく中でお子様の状況や課題について共通理解を持てるように努めていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする時間を設けております。	保護者様とお話ししていく中でよりよい療育へと繋がっていきたいと思っています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	初回利用の契約の際に運営規程や利用者負担などについてのご説明をさせていただいています。	ご契約の際にご説明をさせていただいていますが、ご不明な点などございましたらいつでもお尋ねください。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする時間を設け、お子様のお悩みにお答えさせていただいています。	今後も保護者様とお話しする機会を設けていきますので、お悩みや相談事など何でもお気軽にお話しください。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	9	コロナ禍だったということがあり現在は実施していません。	事業所で協力できることに取り組んでいきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	第三者委員会を設置しており、迅速かつ適切に対応できるように努めております。	ご相談やご質問等がある際には、当事業所にお気軽にご連絡ください。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	ホームページや公式LINE、InstagramなどのSNSで毎月のイベントのお知らせや事業所の様子などを発信しております。	引き続きホームページや公式LINE、InstagramなどのSNSで発信をしていくことで事業所のことなどを知っていただければと思いますので、是非ご覧ください。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	個人情報の取扱いに十分注意を行ない、厳重に取扱っております。	今後も引き続いて細心の注意を払って取扱っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	日々の療育の中で相談させていただいています。	引き続きお子様や保護者様とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っております。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	0	多気町の公民館で介護予防事業のフレイル予防についての講演と運動を行ない、地域住民の方々にご参加いただいております。	フレイル予防についての講演や運動を通じて地域の方々との関わりを深めていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	対応マニュアルを作成し、周知できるように努めております。地震や火災の発生を想定した避難訓練をお子様と共に実施しております。	お子様と一緒に避難訓練などを行なっていき、マニュアルについて周知していけるように努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	年間スケジュールを作成し、お子様と共に防災訓練を実施しております。	防災訓練を通して、今後も非常災害の際の避難方法や対策を考えて取り組んでいきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	虐待防止委員会を設置し、マニュアルを作成しております。年間スケジュールを作成し、職員向けの研修を実施していくことで職員の知識の向上に努めております。	引き続き職員の技術や知識向上のための研修機会を多く設けて取り組んでいきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	当事業所は該当項目の支援を行なっておりません。身体拘束委員会を設置し、マニュアルを作成しております。年間スケジュールを作成し、職員向けの研修を実施していくことで職員の知識の向上に努めております。	身体拘束の必要性がある場合は、保護者様と相談の上で決定させていただきます。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	契約時にお渡しする書類に記載をしていただき、内容を把握して職員間で共有をしています。	全職員でお子様のことを把握していき、今後も共有していくよう努めていきます。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	事業所内で実際に起きたヒヤリハットの対応策や想定されるヒヤリハットの状況などを考え、全事業所で共有しています。引き続き、今後も怪我や事故が起こらないよう予防に努めていき	引き続き怪我や事故が起こらないように今後も予防に努めていきます。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月26日

事業所名 HARVEST UNITE

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	個室の使用や同時間に複数の児童がいても、パーテーションを使用して空間を区切る事が出来ます。それを活かして、個々に合わせた対応をしています。	利用人数によっては個室、パーテーションが足りない可能性があります。今後利用人数が増えても多くのお子様にクールダウンスペースの確保、お子様が集中しやすい環境を提供できるようスペースの使用を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	10	0	利用児童に対して、支援者の数が常時1人以上で対応できる人数配置を行っています。	基準を満たす人数配置は行い、利用児童1人に対して支援者が常時1人以上で対応できるようになっています。怪我や事故がないように、引き続きお子様が安全に療育へ参加できるよう努めてまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	1	生活空間に関しては、段差がなくバリアフリー化がとられています。情報伝達に関しては、日々職員間で業務の前後と休憩前に定期的に実施の他、随時情報の伝達と共有をして対応しています。	トイレの手すりや玄関先スロープなどを今後検討しており、必要に応じて対応させていただきたいと考えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	0	各スタッフ、担当の児童に対して主担当とサブ担当を設けることで、広い視野で児童への支援方法を考え計画を行っています。	引き続き職員同士の情報共有を行い、職種の特性を活かした提案（支援計画）を形にしていけるよう努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	毎年実施し、その結果はHPに掲載しています。またそこから出た意見を元に、全事業所で日々の療育に改善を行っています。	引き続きアンケートからいただいたご意見を元に業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	県へアンケートの提出とホームページで結果を公開しており、いつでも閲覧いただける様にしています。	引き続きアンケートからいただいたご意見を元に業務改善に繋げていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	0	外部評価に当てはまるか分かりませんが、集団指導やオンライン監査を元に、会社全体で情報共有を行い日々の業務の改善を行っています。	引き続き外部評価を行い、評価結果を元に会社全体で情報を共有し、日々の業務改善に努めていきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	2か月に一度（年に6回程度）、定期的に計画をして全体で集まる職員研修を実施しています。	今後も勉強会、研修を定期的に行い、評価指標の作成や療育内容の発案など職員1人1人の質を向上していけるよう取り組んでまいります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	利用開始月と年に2回（誕生日とその半年）、計画書を作成しています。保護者様にもモニタリング前には評価を行うと共に、担当とサブの担当者で話し合いを行い支援計画を作成しています。	支援内容が分かりやすいように「どんな遊び」や「課題」を提供するか課題ごとの意味合いを記載するようにします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0	保護者様への事前聞き取りやニーズに沿って計画を立案しています。またその聞き取りを元に、全事業所で共通の評価を年齢や状態に合わせて実施しています。お子様の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。	保護者様への事前聞き取りやニーズに沿って計画を立案しています。お子様の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	療法士、保育士の特色を活かし、チームで活動を立案しています。（運動課題、工作、ゲーム、SST等）活動内容は毎回変更しており、児童に合わせて難易度やルールを調整しています。	お子様の成長に合わせた遊びに楽しく参加していただけるように努めます。実施した遊びや課題にどんな意味があるのか、狙いがあるのかを保護者様にお伝えできるようにしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。スモールステップを敷くことで成功体験を積み重ねることができるよう、活動プログラムは固定化せず、たくさんの活動に参加していただけるよう工夫しています。	各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。スモールステップを敷くことで成功体験を積み重ねることができるよう、活動プログラムは固定化せず、たくさんの活動に参加していただけるよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。スモールステップを敷くことで成功体験を積み重ねることができるよう、活動プログラムは固定化せず、たくさんの活動に参加していただけるよう工夫しています。	引き続き保護者様のお悩みに合わせて、個別対応を行いながら目標達成への過程を大切に
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	事前の聞き取りやアセスメントを元に、計画は立てています。子どもの様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルで計画の見直しを行っています。	基本的には個別活動、集団活動どちらも実施しますが、お子様の状況に合わせて適宜支援内容を変更していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	利用前の見学でた情報を元に、利用時の支援を担当スタッフ間で計画します。また日々業務の前後と休憩の時間を使用しながら、職員間で支援内容の伝達や協力をしながら療育に臨んでい	引き続き支援開始前には必ず職員間で打ち合わせをします。利用時間の切り替わりで事業所内にお子様が多くなる場合も怪我や事故が起きないよう役割分担をして対応できるように努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	毎日、職員間でその日の子どもの様子の情報共有をしています。その際に次回の利用時の取り組みの相談を行っています。	引き続き支援開始前には必ず職員間で打ち合わせをします。支援後には振り返りを行い、次回実施する支援内容の検討や目標を決定するようにします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	日々の利用については、日報で記録を残しています。担当スタッフ（メインとサブ）や職員間で検証改善を行っています。	引き続き日報をいつ確認しても当時の状況を振り返ることができるような記載内容にすることを心がけていきます。スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげていきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	利用時初月とモニタリング月、誕生日に計画書の見直しや変更を行い親御さんにも書面でお伝えしています。	日々成長していくお子様の状況に合わせ児童発達支援計画を見直ししていきます。定期的なモニタリング実施と見直しの必要性をしっかりと判断し、見直した内容を保護者様に分かりやすく説明できるよう努めます。	
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	10	0	ガイドラインに沿った活動を複数組み合わせています。	引き続きガイドラインに沿った活動を組み合わせっていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	事業所の管理者が基本的に参加をしています。ただ、事前に子どもの様子を担当スタッフから現状を聴取し把握して担当者会議に参加しています。	今後は管理者以外のスタッフが参加する機会を増やし、サービス担当者会議に精通した人材育成に努めていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	0	保護者様を通して、学校行事等は把握をしています。また学校訪問をしている場合は、その時に情報を把握させていただき事もございます。	引き続き学校との情報共有や学校での様子を保護者様から伺うと共に、必要に応じて自社で行っている保育所等訪問事業で学校との繋がりを深め、児童のサポートを行っていくよう努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	10	必要に応じて、保護者様を通して主治医等と連絡を取り合い、連携をとっています。また、利用時にかかりつけの病院の情報を聞き、連絡体制を整えています。	今後必要に応じ体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	0	今はしていませんが、場合により連携を取らせていただく事もあります。	「保育所等訪問」という事業を展開しています。今後保護者の皆様に知っていただく機会を設けていきたいと考えています。連携した支援についてご不明な点がございましたら気軽にスタッフまでお尋ねください。

関係機関 や保護者との 連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	0	現在は移行している児童がいませんが、今後必要に応じて行っていきたくて検討しています。	現在は移行している児童がいませんが、今後必要に応じて関係各所と連携をとって頂けるよう努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	0	各種医療・福祉機関と連携して研修を受けさせていただいています。今後も連携を続けていく予定です。	今後とも連携を深め、1人でも多くプロフェッショナルとして支援を提供できる人材の育成に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	10	現時点では、コロナ禍という事もあり実施していませんが、今後交流する機会を設けて行ければと考えています。	現在は実施していませんが、今後は毎月開催しているイベント等から、交流を持てると思いと思っています。交流を通して、地域とつながっていきたくてと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10	0	当社の代表が、自立支援協議会等の集まりに積極的に参加をさせていただいています。	今後は管理者以外のスタッフが参加する機会を増やし、サービス担当者会議に精通した人材育成に努めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	利用の時間内で、療育の時間とフィードバックの時間を作り伝え合い、共通の理解を深めています。	引き続き保護者様とお話する時間を大切に、お子様の発達状況や課題について都度共通認識を持てるようにしていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	0	現在は個別の対応となっておりますが、保護者様のお悩みに合わせて行っています。	ご自宅でのお子様への関わり方やホームエクササイズの提案をさせていただいております。ペアレント・トレーニングについて興味がある、ご不明点がありましたら気軽にスタッフまでお尋ねください。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	契約の際にご説明をさせていただいています。また、それ以降にご不明点等のご質問にはお答えさせていただいています。	契約時に説明させていただいております。請求書をお渡す際に再度丁寧な説明をするようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	ご利用の前後の時間でお話を伺ったり、お悩みにお答えさせていただいています。必要に応じて、話し合いの場を設ける実施する事もございます。	ご利用時は必ずスタッフと保護者様でお話する時間を設けております。お困りごとや相談には都度対応させていただきますので気軽にお声がけください。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	10	現在はコロナ禍でもあり集まって行う事を実施していませんが、今後は実施していきたくてと思っています。	オンライン相談やオンライン勉強会を実施しております。引き続き定期的に保護者様同士が連携できる場を提供していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	苦情対応の窓口やマニュアルを設けて、迅速かつ適切に対応を行っています。	現在多数のご相談や利用見学の申し込みを頂いています。ご相談や申し入れに対しては迅速に回答できるよう体制を整備していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	毎月全事業所統一でのイベントの案内等を発行していると共に、SNS (HP、Instagram、Facebook) でイベントのお知らせや事業所の様子の紹介を行っています。	現在は屋外活動や勉強会といったイベントの案内をチラシ配布、掲載、SNS等さまざまな方法でお知らせをしています。今後は療育で実施している活動内容の紹介なども発信していきたくてと思っています。
	35	個人情報に十分注意している	10	0	個人情報の取り扱いについては、会社全体でのミーティングをはじめ全スタッフで気を付けて取り組んでいます。	引き続き個人情報につきましては厳重に取り扱っていきます。会社全体のミーティングにて個人情報の扱いについての理解をより一層深める取り組みも継続していきます。
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	保護者様のご都合に合わせて、個別対応をしています。直接お会いできない場合でも書面等を通じて、様子を伺わせていただくようにしています。	引き続き保護者様、お子様に分かりやすく情報を伝達できる方法を模索していきます。なるべく可視化して情報を確認しやすいようにしていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	10	昨年度、毎月のイベントにて地元の方に協力をいただき、海岸清掃を実施いたしました。現在はコロナ禍でもあり、地域住民を招待する事を実施していませんが、今後は地域の方と繋がったイベント等を行っていきたくてと思っています。	昨年に引き続き海岸清掃や新たなイベントを企画し、地域住民の皆様も気持ちよく参加、交流する機会を設けていきたいです。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0	はい、マニュアルがあります。また社内で運営TEAMを設立しています。その中の一つに災害チームがあり、災害や感染症等について職員からの意見を取り入れ職員向けに検討議案を立てて実際に活かせる取り組みをしています。	マニュアル内容を全職員が把握することを徹底します。緊急時を想定した訓練を実施するとともに「なぜ訓練を実施するのか」という因果関係をお子様にも学んでもらうきっかけにしていきたいです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	はい、実施しております。計画を立てて年に2回は必ず実施し、他にも感染症対策として手洗いの方法を確認や交通安全についても全事業所同時に学びと実践に取り組んでいます。	年間計画を立て計画的に実施して頂けるよう準備し、訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	はい、社内で虐待防止についてのチームを作り、マニュアル作成と共に社員研修の実施に取り組んでいます。	年間計画を立て計画的に研修を実施して頂けるようにします。引き続き職員の技術・知識向上のための研修機会を多く設けていきます。
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	0	基本的に、身体拘束は行っていません。しかし、今後そういった事も出てくる可能性を含め、チームで検討し全社員で共有していきたくてと思っています。	身体拘束に関してのマニュアルを作成し、全職員が止む終えず拘束対応する場合にマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有をします。止む終えず身体拘束の必要性がある場合は、必ず保護者様と相談の上で決定させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	食べ物の提供をする事は無いのですが、アレルギーに関しては利用時に聴取し職員間で情報共有を行い把握しています。	お食事(昼食、軽食等)としての食べ物を提供する予定は現在ございませんが、口腔訓練や屋外活動などの機会に食物に接する機会がございますので、アレルギーに関する情報は全職員が情報を把握するようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	はい、実施しております。また日ごろのヒヤリを元に想定ヒヤリを全職員で考えながら、ケガや事故の防止や予防に努めています。	ヒヤリハットに関しましては全事業所で事例を共有しています。引き続き実際にあったヒヤリハットや現場で想定されるヒヤリハットな状況を全職員で考え、ケガや事故の予防に努めていきます。